

スイレンが咲き誇る「モネの池」を再生

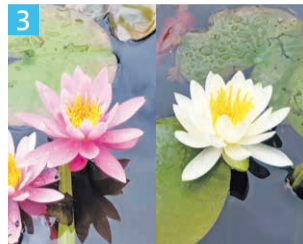
三田市の小野公園には、夏にスイレンが咲く「モネの池」と呼ばれる人工池があります。一度は荒れ果てた池を約3年がかりの清掃活動でよみがえらせた市民グループ「EGS」の代表、前出佳与さんに話を聞きました。(取材・文 本紙編集部)

Q.清掃活動を始めたきっかけは。

約30年前の池はクロード・モネの絵画「睡蓮」のような美しさでした。コロナ禍に久しぶりに公園を訪れた際、落ち葉などが堆積し、変わり果てた池の姿に衝撃を受けました。以前の姿を復活させ観光名所にする事で、過疎化が進む地元小野地区の活性化にもつながるのでと2023(令和5)年9月、「EGS」を立ち上げ、「『モネの池』再生プロジェクト」を始動しました。

Q.活動内容は。

月2回程度、日曜の午前中に、「EGS」のメンバーと当日集まった参加者で、落ち葉や繁茂して腐ったスイ



レンなどの堆積物をすくう清掃作業をしています。約3年間、延べ約650人の活動で美しい姿を取り戻し、三田市から感謝状もいただきました。作業後は、ピザを作って食べるのも恒例です。

Q.今後の展開は。

スイレンは繁殖力が強いので、池を美しく保つには活動の継続が必須。当日参加OKのボランティアを随時募集しています。すくった堆積物に市内の乗馬クラブで出る馬ふんを混ぜて有機肥料にし、市内の農家で活用して循環させる取り組みも計画中です。

EGSの活動については
こちら



1 小野公園内の「モネの池」。スイレンは6月～7月が見頃。2 胴長を着て池の中に入り清掃活動。真冬でも「氷を割るのが楽しい」と池に入る人もいるそう。3 スイレンは朝に開花し、16時ごろには閉じるので、観賞は11時ごろまでがお勧め。

「モネになる1日」を開催

モネになりきって、スイレンが咲く池を思い思いの画材で描くイベント。作品は市内巡回展示。キッチンカーも出店予定。

- 📅 7月12日@10時～15時
- 📍 小野公園(三田市小野81-2)
- 👥 50人(先着) ¥1,000円(用紙代込み)
- 📞 当日までに📞で同団体へ



新温泉町久谷地区では、旧暦の端午の節句に合わせて毎年6月5日に「但馬久谷の菖蒲綱引き」を開催します。約700年前に始まったとされ、江戸時代中期の綱引きの形を現在に伝えるものとして国の重要無形民俗文化財に指定されています。前日、魔よけ祈願に各戸の屋根に投げたショウブ、ヨモギ、ススキの束を、当日午後に子どもたちが集め、保存会がわら縄に編み込み綱を作ります。日が暮れると、大人組と子ども組に分かれて綱引きがスタート。毎年白熱した戦いが繰り広げられ、7番目の「納めの綱」に大人組が勝つと、その年は豊作になるといわれています。(新温泉町文化財室)

📍新温泉町文化財室 📞0796-82-4490

端午の節句に行く 年占いの綱引き7番勝負

詳しくは
こちら



青玉と赤玉の2種類を栽培 糖度13度以上のいなみ野メロン



JA兵庫南の直売所「ふあ～みんSHOP」で販売します。1玉2,300円～。



稲美町のいなみ野台地は、瀬戸内地方の中でも特に降水量が少ない地域です。先人たちは少ない水で味の濃い農産物を作る工夫をし、1983(昭和58)年、編み目模様があるネット系メロンの栽培を始めました。現在は、JA兵庫南メロン部会所属の農家13軒が計約1.5haのビニールハウスで生産しています。ひょうご推奨ブランドにも認定されているいなみ野メロンは減農薬で栽培し、1本のつるから1果しか育てず、糖度が13度以上のものと規定。6月下旬から8月初旬にかけて、さっぱり爽やかな青玉とこくがあって甘みが強い赤玉を販売します。2種類の食べ比べもお勧めです。(JA兵庫南メロン部会 小山博嗣さん)

📍JA兵庫南稲美営農経済センター
📞079-496-5135
📞079-492-8312

詳しくは
こちら

